



山口市

報道資料

平成30年2月20日

1 件名	平成29年度山口市美術展覧会 審査結果 及び 表彰式 のお知らせ																								
2 内容	<p>◆ 山口市美術展覧会の審査結果について</p> <p>2月19日に開催いたしました審査会の結果を、次のとおりお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 応募作品 173点・ 展示点数 172点 ・ 入賞作品 15点 (別紙1) 各受賞作品の画像の希望がありましたらデータでお渡ししますので、メールにて文化交流課までご連絡ください。 ・ 審査員講評 (別紙2) 審査員：<table><tr><td>いくた</td><td>てるよ</td><td>うえはら</td><td>かずあき</td><td>きもと</td><td>のぶあき</td></tr><tr><td>生田</td><td>照代</td><td>上原</td><td>一明</td><td>木本</td><td>信昭</td></tr></table> <table><tr><td>くらた</td><td>けんじ</td><td>はらい</td><td>てるあき</td><td></td><td></td></tr><tr><td>倉田</td><td>研治</td><td>原井</td><td>輝明</td><td></td><td></td></tr></table><p>(五十音順 敬称略)</p> ・ 大賞受賞者コメント (別紙3) <p>◆ 表彰式 (別紙4)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日時 平成30年2月25日 (日) 午前9時～9時30分・ 場所 山口市民会館 展示ホール	いくた	てるよ	うえはら	かずあき	きもと	のぶあき	生田	照代	上原	一明	木本	信昭	くらた	けんじ	はらい	てるあき			倉田	研治	原井	輝明		
いくた	てるよ	うえはら	かずあき	きもと	のぶあき																				
生田	照代	上原	一明	木本	信昭																				
くらた	けんじ	はらい	てるあき																						
倉田	研治	原井	輝明																						
3 主催者	山口市・山口市教育委員会・山口文化協会・おごおり文化協会																								
4 問合せ	ふるさと創生部 文化交流課 TEL 083-934-2717 E-mail : bunka@city.yamaguchi.lg.jp																								

平成29年度山口市美術展覧会受賞者一覧 (H30.2.19作成)

賞	部門	ふりがな 作品名	ふりがな 作者氏名	地区	年齢
大賞	絵画	アレッタ ^{りんごきりえ} の林檎(切絵)	うえだ こうきち 上田 幸吉	小郡	55
準大賞	写真	がつ にち ゆき 9月18日の雪	よしだ たかひろ 吉田 崇宏	大歳	49
山口市教育委員会賞	デザイン	まるまる 〇〇	かなづき 神無月	平川	66
山口文化協会賞	絵画	きょうそん 共存	たかまつ あんな 高松 安奈	平川	21
おごおり文化協会賞	絵画	たえる 耐	ふじた ともみ 藤田 知美	秋穂二島	30
奨励賞	絵画	この森 ^{もり} に埋 ^う めてもええそかね?	いおか よしとも 井岡 義朋	小郡	75
〃	工芸	かざねつけ 飾り根付	おの しげのり 小野 茂紀	秋穂二島	76
〃	絵画	じあい 慈愛	ささき のりこ 佐々木 範子	吉敷	45
〃	写真	でゅーん Dune	すぎなが ひろと 杉永 博人	阿知須	66
〃	書	ほんにやしんぎょう 般若心経	まつうら きみえ 松浦 公恵	白石	61
審査員特別賞	絵画	あやつり人形 ^{にんぎょう}	いが あきこ 伊賀 晶子	宮野	48
〃	絵画	しょうじょ 少女	こうとく ひでお 神徳 秀夫	小郡	81
〃	絵画	あめ ひ とうこう 雨の日の登校	のだ ももこ 野田 百子	湯田	80
〃	絵画	さんげらんぶに 散華乱舞Ⅱ	やまね みどり 山根 みどり	小鯖	56
〃	書	ほととぎす 時鳥	よしたけ やえこ 吉武 八重子	陶	84

(敬称略)

平成29年度山口市美術展覧会講評

大賞

「アレッタの林檎 (切絵)」

上田 幸吉



古くからある切絵の技法に新鮮な感性を職人芸ともいえる確かな技術で盛り込み、確認すると、2度目の挑戦で大賞を獲得された作者を先ずは称えたい。男と女、いや人間同士が複雑に絡み合うミステリアスな世界……愛し合い抱き合う手前の人物の足元に置かれた林檎は、「アダムとイブ」の「禁断の実」を象徴するのでしょうか？

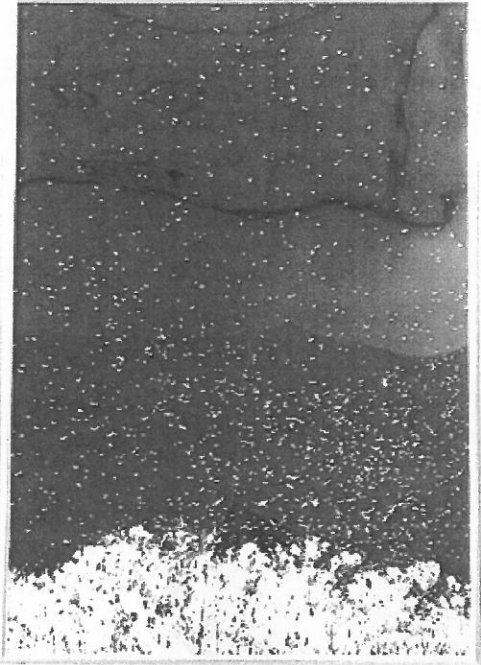
登場人物のうちの誰が主役なのか？画面の向こうに広がる空想と妄想の世界。ピカソやブラックがこの作品を観たら、さぞや驚き、かつ感服することでしょう。

(木本 信昭)

準大賞

「9月18日の雪」

吉田 崇宏



草花の生命力が表出する一瞬を捉えている。そこで出会った情景あるいは切り取られた空間は、あたかも小雪の舞う冬景色のように感じられたのだろう。タイトルから、その様子は雪に見立てられているが、引き戻すように日付が添えられている。被写界深度を浅めに捉えることにより、奥行きを生み、空間が創出されている。一面に吹き上がる綿毛が黒い背景に舞う様子は、宇宙空間のようにも感じられた。ふわりふわり、はらはらと創造を拓け楽しむことができる秀逸な作品である。

(倉田 研治)

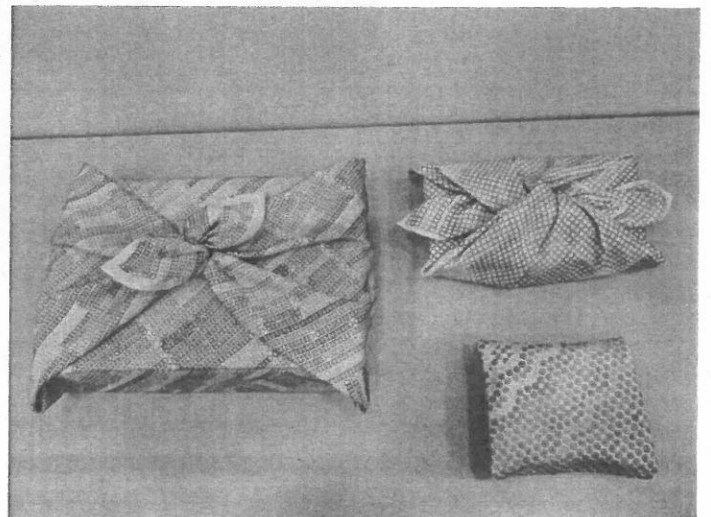
山口市教育委員会賞

「〇〇」

神無月

永年、市美展に出品され続けられた一見地味な仕事が高く評価されました。日本の風呂敷や袱紗、韓国のポジャギは、包むという機能だけでなく、伝統工芸やアートとして見直されています。「〇」は「輪」であり「和」にも通じます。刺し子もそうですが、抑制のきいた色数の刺繍糸により繰り返される小さな「〇」の集積の平面作品が、たたみ方、折り方など立体化されることで、眼前で水や風の流れのように変化し、韓国の現代美術にも底通する心に沁みる作品になっています。

(木本 信昭)



山口文化協会賞

「共存」

高松 安奈



おびただしい数の人物が並ぶこの作品は、迷いのない線で埋め尽くされていることに驚かされる。繰り返し登場する顔は、作者自身の日常の出来事が仲間や時代と共に描かれているのかもしれない。下地の工夫や配色、キャラクター化された親しみやすい線、それらの組み合わせがこの作品を惹きつけているといえる。課題としては、画面全体での構成にもより工夫されることで一層魅力的な作品となるだろう。今後も楽しみな作家である。

(原井 輝明)

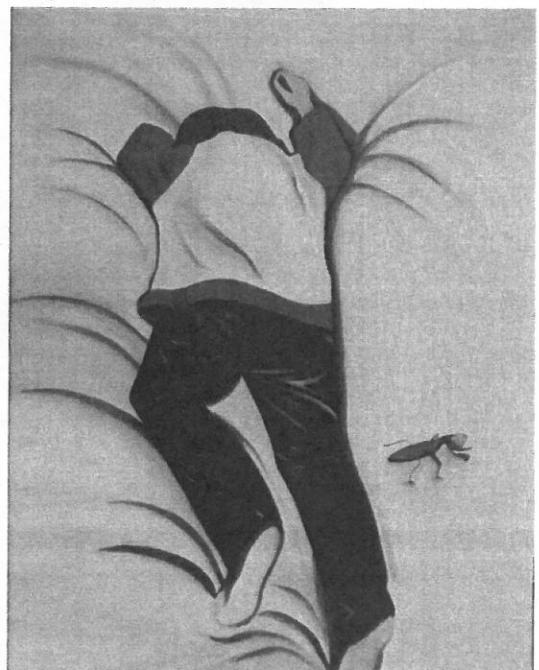
おごおり文化協会賞

「耐」

藤田 知美

なにやらある若い人物がベッドにうずくまり、タイトル通り何かに耐えている。上半身は赤い袖に白の服を着ており、ズボン黒い。どこにでもいそうな人物である。性別は不明だ。傍らには一匹の大カマキリが不敵にこちらを向いている。人物が耐えている原因の象徴なのか、それとも何かに耐えている人物を嘲笑っているのか。後ろ向きの人物描写に写実性はなく、不思議に歪んでいる。その歪みがこの作品の世界観を一層効果的な高みへと誘う。自分にとっては不本意で不安な現代社会の現実を、後ろ向きの人物を通して日常生活の部屋の中で表現することで、よりリアルにしかもそこに大カマキリを象徴的に携える手法が、この絵に独特な世界観を醸し出させている。

(上原 一明)



◆ 総評

本年は15歳から90歳と幅広い年齢層、様々なジャンルから多岐にわたる力作の応募があり、専門分野を越えた審査員の美意識が試される審査会になりました。

審査は先ず、応募作品全体の傾向を把握し、それぞれの審査員が15票の持ち点で賞候補の推薦作品を選びました。賞の選考は、多くの審査員から推薦のあった作品を中心にしながらも、票数の少なかった作品も含めて議論と投票を繰り返し、順次賞を決定していきました。

一次審査で審査員全員の票を獲得した絵画部門・上田幸吉さんの「アレッタの林檎(切絵)」は文句なしに大賞に選ばれましたが、デザイン部門・神無月さんの作品「〇〇」は、議論を繰り返すなかで徐々に評価が高まり、山口市教育委員会賞となりました。

この「〇〇」は、工芸部門の応募規定上の制約からデザイン部門での応募になったとも想像され、他にも写真部門では規格外になるため絵画部門で応募された作品もありました。審査はジャンル(部門)に拘らず行いますので、このあたりで、応募規定を部門も含め見直すことが必要かもしれません。

(審査委員長 木本 信昭)

(審査員)

生田 照代	梅光学院大学非常勤講師
上原 一明	山口大学教育学部准教授
木本 信昭	元下関市立美術館副館長
倉田 研治	山口県立大学国際文化学部准教授
原井 輝明	宇部フロンティア大学短期大学部准教授

(五十音順・敬称略)

平成 29 年度山口市美術展覧会 大賞受賞コメント

平昌オリンピック日本選手の大活躍、感動さめやらぬ中、今回受賞の御報告を頂き、ただただびっくりです。特別金メダルを貰ったような気持ちです。

作品につきましては、切り絵を始めて一年半位ですが、当初は平面的な作品から始まり、試行錯誤しながら、立体的な切り絵という今回の作品につながりました。

キュビズム的な要素を取り入れ、モノトーン色にすることにより、構成も含めミステリアスで物語のある作品になればと思いました。

(大賞受賞者 うえだ こうきち
上田 幸吉)

平成29年度山口市美術展覧会 表彰式 次第

日時：平成30年2月25日(日) 9:00～

場所：山口市市民会館 展示ホール

1 開式

2 来賓および主催者紹介

3 各賞表彰

大賞	(授与者) 山口市長
準大賞	山口市議会議長
山口市教育委員会賞	山口市教育委員会教育長
山口文化協会賞	山口文化協会副会長
おごおり文化協会賞	おごおり文化協会会長
奨励賞	山口市長
審査員特別賞	山口市美術展覧会審査委員会委員長

4 主催者代表挨拶 山口市長

5 審査総評 山口市美術展覧会審査委員会委員長

6 受賞者挨拶 大賞受賞者

7 閉式